

花のまちづくり ガーデニングコンテスト 2017

丹精込めた花壇の美しさ、庭造りへかける思いを広く知ってもらうチャンスです。
みんなで見ると花も喜び、ガーデニングも楽しさ倍増！
気軽にご応募ください。たくさんの方の参加をお待ちしています。

募集期間

4月1日(土)～6月30日(金)

対象・部門

市内の個人・グループ・企業などを対象に部門別に募集します。

【個人部門】

個人宅の玄関・道路沿いの壁・生垣・庭・窓などの花壇や植栽(鉢植えも含む)。

【グループ部門】

グループや団体による街路・広場などの共有する場所での花壇や植栽。

【企業部門】

企業や商店などによる施設内および周辺での花壇や植栽。

応募方法

■ 現像した写真で応募する場合

申込用紙に必要事項を記入し、応募期間中に撮影した写真を添え、菊池市役所都市整備課(※)に提出してください。(郵送可)

提出写真:全体が分かるもの1枚(6つ切り)、補足的な写真2枚(L判)

■ 画像データで応募する場合

メールで応募の場合は、件名を「ガーデニングコンテスト」と標記し、応募用紙記載事項をメール本文に明記の上、JPEG形式の画像データ(7MB以下)を添付してください。(持参可)

※都市整備課の事務所が下記のとおり移転します。直接提出される場合はご注意ください

3月20日(月)まで ▶ 菊池市浄水センター(菊池市赤星1818)

3月21日(火)から ▶ 市役所本庁舎増築棟2階

お問い合わせ
郵送先

菊池市役所 都市整備課 〒861-1392 菊池市隈府 888 番地
☎ 0968(25)7242 メール: toshiseibi@city.kikuchi.lg.jp

金賞
(各部門から1点ずつ)
商品券 10,000円分

銀賞
(各部門から1点ずつ)
商品券 5,000円分

特別賞
(全部門から1点)
商品券 5,000円分



作文

プラチナ未来人財育成塾

参加報告

プラチナ未来人財育成塾で学んだこと

泗水中学校2年 大賀唯人さん



今回僕は、「プラチナ未来人財育成塾」という事業に参加させて頂きました。これは、リーダーとは何かを学び、未来のリーダーを育む機会でした。全国各地から中学生が集まる、この貴重な経験をさせてくださった菊池市に感謝しています。

今回の事業で一番印象に残ったのは、ラグビー日本代表ヘッドコーチ代行をされている中竹竜二先生の講義でした。中竹先生は、リーダーとしてあるべき姿について話して下さいました。中竹先生の講義の中で特に心に残った言葉があります。それは、「スキルよりスタイル」という言葉です。僕は代議員をしていました。クラスをまとめなきゃいけないと思います。今まで背伸びをしていました。背伸びをしすぎるあまり、失敗してしまう事もありました。でも今回、中竹先生の話も聞いて、能力より、自分らしさが大事という事が分かりました。それに、背伸びをすると逆にリーダーとして失敗します。みんなが自分を信頼してくれる様になり、失敗しないためには、自分に正直になり、背伸びをしすぎないようにする事が大切です。僕は、集団の先頭に立つてみんなを引っ張っていく事より、みんなを支える事のほうができると思います。これからは、背伸びをしすぎず、みんなを支える事を大切にしていきたいです。

次に、小泉進次郎先生の話です。小泉先生の「当たり前前の日常を支えているのは、当たり前前じゃない努力」という言葉が印象に残っています。小泉先生は、学

生時代に新聞配達の仕事をしていました。朝から当たり前のように読む新聞は、みんなよりとて早起きして配達する人の努力があるおかげです。僕も夏休みの宿題で味噌汁作りがありました。僕は今までだし汁から作る味噌汁は作った事がありませんでした。母に手伝ってもらいながら一から味噌汁を作りました。一度味噌汁を作っただけでも僕は「大変だなあ。」と感じました。でもそれを母は一人でやっていて、それを毎日しています。それに他の料理も作ります。そう考えただけで、僕にはたえられないと思いました。当たり前前のように食卓にでてる味噌汁や料理は、当たり前前ではない努力によって支えられている事が分かりました。なのでこれからは、自分が当たり前前のようにしている事は、誰かの努力によって支えられている事を忘れずに感謝して生活していきたいです。

次に丹呉泰健先生の「みんなのお金で国をつくる」講義です。僕は今まで税金にあまり関心がありませんでした。丹呉先生の講義では、買い物をする時についてくる消費税や仕事の給料から納められている税金などが、みんなが利用する公共施設などに使われていることの話がありました。僕が住んでいる菊池には、15の小中学校をはじめ、文化ホールや公民館、図書館などたくさんの方の公共施設があります。これ以外にも、救急車を呼んだら、ゴミを収集してもらう事も税金でまかなわれています。新学期にもらっている全ての教科書が税金により無償である事は、担任の先生から聞いていたので

知っていました。では、もし税金を誰も納めなかったらどうなるのでしょうか。救急車を呼ぶ事も、ゴミの収集をしてもう事も、全てお金がかかってきます。教科書も買わなくてはなりません。このような状況になると、急病でも病院へ行けない、あちこちにゴミが散乱するかもしれない。教科書が有償になる事で、学びたい子が学べない現実も出てくるでしょう。そうなるなら、みんなの生活はどうなるのだろうか考えただけで怖いと思いました。僕は今まであまり深く税金を知ろうとしていませんでした。しかし今回、学ぶ機会を与えて頂けたおかげで、税金の大切さと必要性を知ることができました。この経験こそが税金により与えて頂いたのです。学びの機会を得て、全国各地の中学生に出逢いました。税金が更に近いものと感じ、ありがたく思えました。学生である僕が、今払っている消費税にもっと興味をもち、その先どう使われるのか関心をもち、しっかりと納めたいと思います。

今回の事業でたくさんの方の学びの時間を得たことはもちろんのこと、全国に友達ができ、その友達と今もつながっている事も財産となりました。自分の世界観も広がりました。様々な話を聴く事で、これからの自分の考えも幅が広がり、一歩前進できたと思います。事業前半は自信をなくしかけていましたが、終わってみると自分に自信がもてました。貴重な経験のできる時間を頂いた事に感謝します。ありがとうございました。

※作文は抜粋しています。

